

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分
 【発行日】平成24年1月19日 (2012.1.19)

【公開番号】特開2010-191139(P2010-191139A)
 【公開日】平成22年9月2日 (2010.9.2)
 【年通号数】公開・登録公報2010-035
 【出願番号】特願2009-34906(P2009-34906)
 【国際特許分類】

G 0 3 B 21/14 (2006.01)

G 0 3 B 21/00 (2006.01)

G 0 2 B 27/09 (2006.01)

【F I】

G 0 3 B 21/14 A

G 0 3 B 21/00 D

G 0 2 B 27/00 E

【手続補正書】

【提出日】平成23年11月25日 (2011.11.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 0】

また、本発明のプロジェクターによれば、画像情報に応じた遮光量でもって複数の部分光束を遮光することにより光変調装置に照射される光の光量を加減する調光装置を備え、当該調光装置は、第 1 遮光板と、第 2 遮光板とを有し、調光装置は、明るさ優先モードが選択されているときには、第 1 遮光板及び第 2 遮光板を一体として動作させることにより複数の部分光束を遮光し、コントラスト優先モードが選択されているときには、第 1 遮光板により第 1 領域から射出される部分光束を常時遮光するとともに、第 1 遮光板とは独立して第 2 遮光板を動作させることにより第 2 領域から射出される部分光束を遮光するため、コントラスト優先モードにおいても、画像情報に応じた遮光量でもって複数の部分光束を遮光することが可能となり、その結果、明るさ優先モードとコントラスト優先モードとのいずれのモードにおいてもダイナミックレンジの広い投射画像を投射することが可能となる。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 7 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 7 0】

また、実施形態 1 に係るプロジェクター 1 0 0 0 によれば、画像情報に応じた遮光量でもって複数の部分光束を遮光することにより光変調装置 2 0 0 に照射される光の光量を加減する調光装置 1 6 0 を備え、調光装置 1 6 0 は、第 1 遮光板 1 6 2，1 6 4，1 6 6，1 6 8 と、第 2 遮光板 1 7 0，1 7 2 とを有し、調光装置 1 6 0 は、明るさ優先モードが選択されているときには、第 1 遮光板 1 6 2，1 6 4，1 6 6，1 6 8 及び第 2 遮光板 1 7 0，1 7 2 を一体として動作させることにより複数の部分光束を遮光し、コントラスト優先モードが選択されているときには、第 1 遮光板 1 6 2，1 6 4，1 6 6，1 6 8 により第 1 領域から射出される部分光束を常時遮光するとともに、第 1 遮光板 1 6 2，1 6 4

， 166， 168とは独立して第2遮光板170， 172を動作させることにより第2領域から射出される部分光束を遮光するため、コントラスト優先モードにおいても、画像情報に応じた遮光量でもって複数の部分光束を遮光することが可能となり、その結果、明るさ優先モードとコントラスト優先モードとのいずれのモードにおいてもダイナミックレンジの広い投射画像を投射することが可能となる。